

幅広い年齢層に対応

さらに広がる 「食宅便」のバリエーション

日清医療食品では、SDGsの目標のひとつ「3.すべての人に健康と福祉を」を重要テーマに掲げています。その取り組みの一環として食事宅配サービス「食宅便」において、「ケアシリーズ」に新たに「やわらかい食事」コースの販売を、また、若い方など食べ応えのある食事を求めている方々へのメニューとして、「まんぷく亭」の販売をそれぞれ開始しました。さまざまな立場・年代のお客様に対し、充実した食生活のサポートを続けていきます。

関連するSDGs



「やわらかい食事」

高齢化などにより硬さのある食事を摂ることが困難な方向けの栄養バランスを考えた食事です。見た目は普段食べているものと変わらず、硬さは歯ぐきでつぶせる、今までにないメニューとなっています。本商品は、調理する手間を省くだけでなく、必要な栄養素を摂取いただくことで健康寿命の延伸のサポートの一助になることを目的としています。



ラインナップの一例 (2020年9月時点)

チキンカツの卵とじ



クリームシチュー



赤魚の煮付け



中華あんかけうどん



「まんぷく亭」

若い方を中心に、今までの「食宅便」では物足りなさを感じているお客様からの「ボリュームのあるお弁当がほしい」という要望にお応えし、今までにないお弁当を作ろうと「まんぷく亭」を開発しました。メニューは「街の食堂」をイメージし、おいしさには妥協しませんでした。特にナポリタンの味はお店によって異なるため、多くの方に好まれる味を目指しました。



ラインナップの一例 (2020年9月時点)

カレー



しょうゆ味とカレー味のから揚げ



焼肉丼



とんかつ



開発者の想い

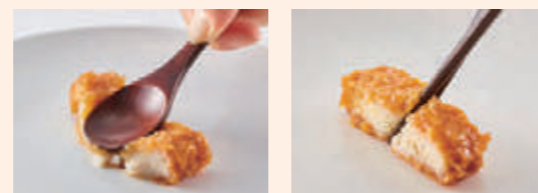
日清医療食品のノウハウを活かした新たなチャレンジ

これまで「食宅便」を購入いただいたお客様から「もっとやわらかいお弁当はないか」という声が多く寄せられていました。しかし、見た目は普通でやわらかいものはこれまでなく、刻んであったりムース状のものなどが一般的でした。そこで、見た目は普通で、おいしく、やわらかい新たなメニューの開発に挑戦しました。

「普通見た目」「おいしい」「やわらかい」という条件に絞り込むと、どうしても食材が限られてしまいます。そこで、調味料や味付けにバリエーションをもたせることでその

条件を克服しました。

硬さのある食事が摂れなくなった方にも、食事の喜びや楽しみを味わっていただければ望外の喜びです。

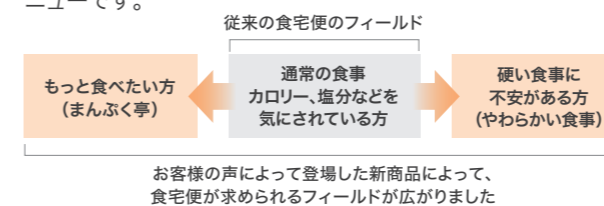


スプーンや箸で簡単につぶす・切るができるやわらかさ

「食宅便」開発の背景

お客様の声で「食宅便」のフィールドを広げる

高齢者世帯や独身・単身世帯の増加、女性の社会進出、健康増進や予防医療ニーズの増加に伴い、日本の在宅配食市場は増大しています。これらを踏まえて日清医療食品は2012年、冷凍のお弁当をクール便でご自宅や医療・福祉施設にお届けする「食宅便」の開発・販売を開始しました。「やわらかい食事」「まんぷく亭」は多様化するお客様のご要望から生まれたメニューです。



今後の展開

多様なお客様のニーズにお応えしていく

昨今の社会情勢を鑑みても、電子レンジで加熱するだけで手軽に食事を摂れる食宅便は、今後ますます需要が増加するものと思われます。医療・福祉の食事サービスに40年以上携わった強みと、全国各地への配送体制の構築、コールセンターを強化し安心感を提供したことなどにより、多くのお客様の支持をいただいています。

今後も社会的背景やお客様のニーズに敏感にお応えし、より多くのお客様に喜ばれ、満足いただける「食宅便」を提供していきます。